

平成29年度第2回平塚市美術館協議会次第

平成30年(2018年)3月23日(金)

場 所 平塚市美術館研修室

時 間 午後1時30分から

1. 開会

2. 議題

(1) 平成29年度の事業報告について

作品	P 1
展覧会	P 2
教育普及	P 17
その他の事業	P 22
施設利用者等の統計	P 25

(2) 平成29年度奏プラン事業の点検評価について

(3) 平成30年度の事業予定について

展覧会	P 28
教育普及	P 34

(4) その他

3. 閉会

平成 29 年度 第 2 回協議会資料 目次

平成 29 年度 事業報告.....	1
作品	1
(1) 展示.....	1
(2) 貸出.....	1
展覧会	2
(1) 企画展 リアル(写実)のゆくえ - 高橋由一、岸田劉生、そして現代につなぐもの	2
(2) 企画展 斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり.....	4
(3) 特集展 夏の所蔵品展 山の絵.....	6
(4) 企画展 プラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の 50 年 これまでとこれから.....	8
(5) 企画展 神山明・濱田樹里展.....	10
(6) 企画展 片岡球子 - 面構 神奈川県立近代美術館コレクションを中心に	12
(7) 特集展 ロビー展 長谷川さちの彫刻 - レイライン.....	14
(8) 特集展 所蔵作品による“なんだろう”展 + 新収蔵品展.....	15
教育普及.....	17
(1) 平成 29 年度実施プログラム.....	17
(2) スクールプログラム	18
(3) 対話による美術鑑賞事業 (ボランティア育成)	20
(4) アートカードの貸出	21
その他の事業.....	22
(1) 事業.....	22
(2) 団体向け研修・体験プログラム.....	23
(3) 博物館実習生及び職場体験	24
(4) 定例会議.....	24
(5) その他	24
施設利用者等の統計.....	25
(1) 展覧会	25
(2) 貸出施設.....	26
施設の管理	27
平成 30 年度 上半期事業案	28
展覧会	28
(1) 企画展 21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 - アンディ・ウォーホルから奈良美智まで ..	28
(2) 企画展 岡村桂三郎展 - 異境へ	29
(3) 企画展 金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋.....	31
(4) 特集展 夏の所蔵品展 - いきもの図鑑.....	33
教育普及.....	34

平成 29 年度 事業報告

作品

(1) 展示

当館展覧会において下表のとおり、813 点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品 点数	うち所蔵・ 寄託	うち借用
1	企画展	リアルのゆくえ - 高橋由一、岸田劉生、そして現代につながるもの	98 点	4 点	94 点
2	企画展	斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり	204 点	0 点	204 点
3	特集展	夏の所蔵品展 山の絵	60 点	60 点	0 点
4	企画展	ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の 50 年 これまでとこれから	326 点	0 点	326 点
5	企画展	片岡球子 - 面構 神奈川県立近代美術館コレクションを中心に	29 点	0 点	29 点
6	企画展	神山明・濱田樹里展	17 点	1 点	16 点
7	特集展	所蔵品による"なんだろう"展 + 新収蔵品展	69 点	68 点	1 点
8	ロビー展	長谷川さちの彫刻 - レイライン	10 点	0 点	10 点
計			813 点	133 点	680 点

(2) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 28 点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	岩手県立美術館、萬鉄五郎記念美術館、神奈川県立近代美術館、新潟県立近代美術館	「没後 90 年 萬鉄五郎展」 4 月 15 日～6 月 18 日、7 月 1 日～9 月 3 日、9 月 16 日～11 月 19 日	8 点	萬鉄五郎「風景(塀の見える風景)」、「雲と裸婦」、「宙腰の人」、「茅ヶ崎風景(海岸風景)」、「富士(砂丘風景)」、「静物」、「風景」、「茅ヶ崎風景」
2	名都美術館	「白寿記念 堀文子展」 4 月 4 日～5 月 28 日	1 点	堀文子「早苗の頃」
3	千葉市美術館	「椿貞雄 没後 60 年記念展」 6 月 7 日～7 月 30 日	1 点	椿貞雄「朝子像」
4	足利市立美術館、碧南市藤井達吉美術館、姫路市立美術館	「リアル(写実)のゆくえ展」 6 月 17 日～7 月 30 日、8 月 8 日～9 月 18 日、9 月 23 日～11 月 5 日	3 点	椿貞雄「菊子座像」、木下晋「休息」、清水敦次郎「老人と髑髏」(寄託作品)
5	熊本市現代美術館	「三沢厚彦 ANIMALS in 熊本」 6 月 24 日～9 月 3 日	2 点	三沢厚彦「Animal 2007-01」、「Animal 2007-02」(寄託作品)
6	横須賀美術館	「開館 10 周年記念 美術でめぐる日本の海」 7 月 8 日～8 月 27 日	1 点	黒田清輝「波打ち際の岩」
7	京都国立近代美術館	「絹谷幸二 色彩とイメージの旅」8 月 22 日～10 月 15 日	2 点	絹谷幸二「ピエロ・デラ・フランチェスカ作品模写」、「あうん・祈り」
8	神奈川県立近代美術館 葉山	「白寿記念 堀文子」 11 月 18 日～2018 年 3 月 25 日	2 点	堀文子「早苗の頃」、「トスカーナの花野」(寄託作品)
9	宮城県美術館、久留米市美術館	「求道の画家 岸田劉生と椿貞雄」1 月 27 日～3 月 25 日、4 月 7 日～6 月 17 日	4 点	岸田劉生「石垣ある道(鶴沼風景)」、椿貞雄「鶴沼風景」、「菊子座像」、「朝子像」
10	横須賀美術館	「青山義雄展 きらめく航跡をたどる」1 月 31 日～4 月 27 日	1 点	青山義雄「バラアーチ」
11	アーツ前橋	「横堀角次郎と仲間たち」3 月 17 日～5 月 29 日	3 点	鳥海青児「裸婦」、「裸婦(横たわる)」、「芦屋風景」
計			28 点	

展覧会

(1) 企画展 リアル(写実)のゆくえ - 高橋由一、岸田劉生、そして現代につながるもの

種別	企画展
会期	4月15日(土)~6月11日(日)
主催	平塚市美術館
協賛	神奈川中央交通(株)
協力	NHK プラネット中部
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	25,318人
担当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館嘱託員)



磯江毅《鮭 高橋由一へのオマージュ》2003年 油彩・板
個人蔵



高橋由一《鮭》制作年不詳 油彩・キャンバス
山形美術館寄託

内容

江戸時代から徐々に将来された西洋画は、その科学的な写実技法により伝統的な日本の絵画と大きく異なり、当時の人々に衝撃を与えました。高橋由一は西洋の石版画と邂逅し、その迫真の描写に感動して洋画家を志しました。彼にとって写実とは、自然や身近なものなど外界に対する清新な感動を伝える手立てとして機能しました。さらに大正期、岸田劉生は北方ルネサンスの巨匠たちの「クラシックの美」をめざし卓抜した描写力で写実を極めました。それは現実を超え出る写実であり「内なる美」の表出として高く評価されています。劉生および彼の率いる草土社は同時代の青年画家たちに大きな影響をもたらしました。ここにおいて写実外界の描写のみならず内面を表出する手段として機能しました。由一と劉生の事物に対するアプローチは異なりますが、両者とも偽りのない心情を示すため細部まで写実的に再現する必要があったことに変わりはありません。

その後、写実絵画は時代の変遷とともに、様々な役割を担いました。また、写実という概念そのものも時代の思潮により変化をきたしました。それは西洋由来の写実をいかに消化し己のものにするかという意識の表れかもしれません。

今また細密描写による写実が注目されています。本展は、移入され150年を経た写実がどのように変化しまた変化しなかったのか、日本独自の写実とは何かを作品により検証し、明治から現代までの絵画における写実のゆくえを追うものです。

関連事業

巡回4館の学芸員によるリレーギャラリートーク

日時：4月15日(土) 15:00～16:00

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：65人

学芸員によるギャラリートーク

日時：4月23日(日)、5月13日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計81人(40人、41人)

親子鑑賞サポートタイム

親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。

日時：5月12日(金) 10:00～11:00

場所：展示室、ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：13人

対談 江尻潔(足利市立美術館学芸員)×土方明司(当館館長代理)

「リアル(写実)のゆくえ展を熱く語る」

日時：5月21日(日) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着150人

参加者数：135人

(2) 企画展 斎藤文夫コレクション 浮世絵・神奈川名所めぐり

種別	企画展
会期	4月15日(土)~6月11日(日) 前期:4月15日(土)~5月14日(日) 後期:5月16日(火)~6月11日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	一般社団法人 川崎・砂子の里資料館
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
観覧者数	24,543人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》後期展示



歌川広重《東海道五拾三次之内平塚縄手道》前期展示

内容

太平の世を謳歌していた江戸時代後半、多くの人々が旅に出るようになりました。その背景として、江戸・日本橋を起点とした各街道が徐々に整備されて道中の安全性が高まったこと、経済の発展により人々の生活に余裕が生まれたこと、また、十返舎一九作『東海道中膝栗毛』の大ヒットにより旅への関心が強まったことなどが挙げられます。旅に出ることが叶った人々は、伊勢神宮などへの参詣を名目に、東海道を上りながらの物見遊山を楽しみました。

現在の神奈川県域は、江戸時代には武州(武蔵国)・相州(相模国)と呼ばれ、江戸の庶民が信仰した寺社や古くからの景勝地が点在していました。江の島や大山は信仰の場所として多くの参詣者を集め、金沢は風光明媚な場所として、箱根は湯治場として人気がありました。また、武州・相州には、京と江戸を結ぶ主要な幹線道路である東海道が通り、平塚をはじめとする宿場町が賑わいをみせていました。各地のそのような賑わいが、多くの浮世絵師によって描き出されています。

本展は、川崎・砂子(いさご)の里資料館館長・斎藤文夫氏が長年にわたって精力的に収集した浮世絵の中から、神奈川県内の名所・東海道の宿場を題材とした優品200点をご紹介しますことで、郷土の魅力を確認しようとするものです。ここでご覧いただく名所の多くは、現在も変わらず私たちにとって馴染み深い観光地です。その今昔をお楽しみください。

関連事業

講演会「浮世絵あれこれ」

日時：4月15日(土) 10:30～11:30

講師：斎藤文夫（公益社団法人 川崎・砂子の里資料館館長、神奈川県観光協会会長）

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着150人

参加者数：150人

学芸員によるギャラリートーク

日時：4月22日(土)、5月20日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計80人(40人、40人)

浮世絵版画 摺りの実演会

日時：5月14日(日) 11:00～12:30、14:00～15:30

講師：公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着50人

参加者数：計110人(60人、50人)

親子鑑賞サポートタイム

日時：5月17日(水) 10:00～11:00

場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：16人

(3) 特集展 夏の所蔵品展 山の絵

種別	特集展
会期	7月1日(土)～9月10日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 8月5日(土)～8月27日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月17日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	62日
観覧者数	12,496人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



岩橋英遠《戸隠》 1976年 当館寄託作品



高良眞木《丘の径 百日草》 1957年頃

内容

このたび、平塚市美術館では、2016年に制定された「山の日」を記念して所蔵品による山の絵展を開催いたします。

山がいまだ多くの人にとって未知の領域であったころ、それは畏怖や信仰の対象であったり、仙境を投影するものでした。明治30年代に入って近代登山が始まると、日本アルプスの壮大な風景が登山者たちによって発見され始めました。その後、大正から昭和前期にかけて登山ブームが巻き起こり、更に交通機関が発達するにつれ、登山を目的としない人々も手軽に山岳風景に接することが可能になりました。こうして「山」という新しい風景が人々の眼前に展開します。山々の壮大な連なり、陽光や月光に照らされて輝く山容、新緑や雪に覆われた様子、山に分け入れば、雄大な滝や木々に埋め尽くされた視界の中に、変化に満ちた光景が広がっています。豊かな魅力をたたえた風景に接した画家たちは、そのみずみずしい感動を作品化しました。

本展では、明治から現代までの山を描いた作品を紹介し、その表現の多様性を示すとともに、山の魅力を絵画の世界から振り返ろうとするものです。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月15日(土)、8月12日(土) 各回 14:00～14:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計50人(10人、40人)

絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館

対話による美術鑑賞ボランティア「ひらびあーつま〜れ」のメンバーと一緒におしゃべりしながら作品を鑑賞します。

日時：7月25日(火)～8月22日(火)の各火曜日(全5回) 各回 11:00～12:00

集合場所：展示室 前

対象：小学生 保護者参加可、保護者は要観覧券

参加者数：計121人(27人、22人、15人、29人、28人)

親子鑑賞サポートタイム

親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。

日時：8月25日(金) 10:00～11:00

場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：16人

(4) 企画展 ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の50年 これまでとこれから

種別	企画展
会期	7月8(土)~8月27日(日)
主催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後援	スロヴァキア共和国大使館、絵本学会
協賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、(株)中川ケミカル、神奈川中央交通(株)
協力	スロヴァキア国際児童芸術館(BIBIANA)、一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで) 8月5日(土)~8月27日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月17日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	13,738人
担当	江口恒明(当館学芸員)



田島征三《ちからたろう》1967年 刈谷市美術館蔵



ミロコマチコ《オレときいろ》2015年

内容

スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催される「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(略称BIB=Biennale of Illustrations Bratislava)は、おりしも東西冷戦のさなか、絵本芸術を通じて各国文化の架け橋となるべく、1965年に創設されました。

1967年に第1回展が開催され、のちに芸術性の高い作品や実験的でユニークな作品が集まる世界最大規模の絵本原画コンクールとして知られるに至ります。そして2015年秋には第25回・50周年を迎えました。

日本巡回展となる本展では、まず第1部として「日本の絵本の歴史50年」を振り返ります。日本はBIBとの関わりが深く、第1回展では瀬川康雄《ふしぎなたけのこ》がグランプリに輝いています。その後も、田島征三《ちからたろう》(1969金のりんご賞)、中辻悦子《よるのようちえん》(1999グランプリ)、出久根育《あめふらし》(2003グランプリ)などの受賞歴があり、つねに高い評価を得てきました。これら歴代参加作品を通じて、日本の絵本文化の変遷をたどります。

また、第2部として、第25回展の受賞作品、および日本からのノミネート作品を紹介します。25回展では、ミロコマチコ《オレときいろ》が金のりんご賞を受賞しています。各国作家の作品から原画ならではの味わいとともに、絵本のこれからを期待させる新鮮な表現、独創的な試みをご覧ください。

関連事業

みんなで選ぼうお気に入りの絵本原画！！～ひらつか子ども審査員賞～

ブラティスラヴァでは、大人の審査員と同じ方法で子どもたちが作品を選ぶ「子ども審査員賞」があります。これにちなんで、中学生までの子どもたちにお気に入りの1点を投票してもらいます。

投票期間：7月8日(土)～8月10日(木)

発表期間：8月15日(火)～8月27日(日)

対象：本展観覧の中学生までの子ども

参加者数：1,060人

親子鑑賞サポートタイム

日時：7月14日(金) 10:00～11:00

集合場所：ミュージアムホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：12人

夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐる！スタンプラリー

期間：7月21日(金)～8月29日(火)

参加者数：1,103人

光のりんごに想いを込めよう

BIB金のりんご賞をイメージしたりんごの形のCuttingシートに、展覧会の感想を書いてホールのガラスに貼ります。

日時：7月22日(土)～8月6日(日)

場所：テーマホール

対象：0歳～一般 各日先着30人

参加者数：420人

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月22日(土)、8月19日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：65人(35人、30人)

絵本作家・松田奈那子さんと一緒にちょうちょを描こう！

本展出品作家の松田奈那子さんと一緒に大きな紙にちょうちょを描きます。みんなで描いた作品は展覧会会期中に美術館のエントランスに展示します。

日時：8月4日(金) 13:30～16:30

場所：アトリエ

対象：3歳～小学生

参加者数：12人

(5) 企画展 神山明・濱田樹里展

種 別	企画展
会 期	9月30日(土)～11月26日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 野村財団
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 10月9日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
観覧者数	7,800人
担 当	勝山滋(当館学芸員)



神山明《経験と世界の交わり》2000年
撮影/末正真礼生 提供/コバヤシ画廊



神山明《僕が空へ行く夜》1987年



濱田樹里《流・転・生》部分 2009年 当館蔵

内容

没後5年となる湘南ゆかりの彫刻家、神山明(かみやまあきら、1953～2012)と、近年画境の進展著しい日本画家、濱田樹里(はまだじゅり、1973～)の大作を紹介します。神山明は長く横浜に住んだ彫刻家で、東京芸術大学大学院を修了後、杉材にオイルステインを施し、三日月や星、さらに小屋や塔、階段などを組み合わせた風景彫刻ともいべき作品を制作し、日本国際美術展、サンパウロ・ビエンナーレほか国内外の展覧会に出品を重ねます。小屋の内部も精緻に作り込みを施した建築のようでありながら、その作品世界には全体に人間の気配が感じられ、どこかわれわれの記憶を呼び起こします。東海大学で教壇にたつなど後進の育成にも努めますが、2012年に59歳で他界しました。

一方、濱田樹里はインドネシア生まれ。愛知県立大学、及び大学院で日本画を学び、2000年に上野の森美術館大賞展入選。2010年名古屋市芸術奨励賞新人賞受賞。損保ジャパン美術財団選抜奨励展に出品。愛知県立美術館、一宮市三岸節子記念美術館で個展を開き、2012年には日経日本画大賞展で大賞を受賞。日本画の画材で草花を描きながら、その印象はダイナミックかつエキゾチックで動きに満ち、大地を覆う生命力が象徴されています。

本展では、神山明の作品13点と、濱田樹里の幅16メートルを超える作品4点によって、それぞれの対照的な作品世界をひもときます。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月7日(土)、11月23日(木・祝) 14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計32人(12人、20人)

アーティストトーク

講師：濱田樹里(日本画家)

日時 10月28日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール 申込不要、先着100名

参加者数：38人

親子向けワークショップ おやこで“日本画”たいけん！

濱田樹里さんといっしょに展覧会を鑑賞し、日本画の技法を体験しながら、作品を制作します。

講師：濱田樹里(日本画家)

日時：10月29日(日) 10:00～16:00

場所：アトリエB

参加者数：7組16人

対談「神山明芸術を語る」

講師：浜田真理(画家・神山明 夫人)

聞き手：勝山滋(当館学芸員)

日時：11月18日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着100人

参加者数：65人

(6) 企画展 片岡球子 - 面構 神奈川県立近代美術館コレクションを中心に

種別	企画展
会期	9月30日(土)～11月26日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	荒井商事(株)、DNライティング(株)、日産車体(株)、平塚信用金庫、(株)アイメックス、愛宕精工(株)、(株)アマヤ、神田交通(株)、神田鉄工(株)、湘南造園(株)、神鋼産業(株)、高崎金属(株)、成瀬産業(株)、松上産業(株)、松上産商(株)、(株)山川機械製作所、横浜ゴム(株)、(株)ワイテック
協賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 10月9日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	8,113人
担当	江口恒明(当館学芸員)



片岡球子《面構 足利尊氏》1967年
神奈川県立近代美術館蔵



片岡球子《面構 国貞改め三代豊国》1976年
神奈川県立近代美術館蔵

内容

片岡球子(1905～2008)は札幌に生まれ、画家を志して女子美術専門学校(現:女子美術大学)に学び、再興日本美術院展覧会(院展)を中心に活動をつづけた日本画家です。1926年に同校卒業後、横浜市大岡尋常小学校の教諭をつとめながら画業を始め、1930年《枇杷》で院展に初入選しました。さらに、安田靉彦などに学び、1955年には女子美術大学の専任講師に就任します。

その後、愛知県立芸術大学の教授となった1966年、《面構 足利尊氏》を発表しました。これを皮切りに「面構」と題した連作を生涯にわたって描き続け、その画業を代表する作品といえます。「面構」は、戦国武将や禅僧、浮世絵師など、作家が共感を寄せた歴史上の人物のひとりとなりを描いたものです。彼らが「現代に生きていたら、どんな行動をするか」という点から着想して、その人物の肖像画や同時代の風俗を参照しながら、独自の解釈を加えて表現しています。

このほかに、「富士山」や「裸婦」などをテーマとした作品があり、いずれも鮮烈な色彩と大胆な造形感覚を特徴とし、日本画壇に限らず広く現代の絵画に造形上の問いを投げかけてきました。本展では、神奈川県立近代美術館の所蔵する作品を中心に、「面構」から日本画家・片岡球子に迫ります。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月28日(土)、11月25日(土) 各回 14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計85人(35人、50人)

講演会「球子と箴言(まこと) 芸術家のことば、そして先生のことば」

講師：山本直彰(日本画家・武蔵野美術大学特任教授)

日時：11月4日(土) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着150人

参加者数：100人

親子鑑賞サポートタイム

日時：11月8日(水) 10:00～11:00

場所：テーマホール

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：29人

(7) 特集展 ロビー展 長谷川さちの彫刻 - レイライン

種別	特集展
会期	12月2日(土)~2018年4月8日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30~17:00
休館日	月曜日 1月8日(月・祝)(翌火曜日休館)及び2月12日(月・振休)は開館、年末年始(12月29日(金)~1月3日(水))
観覧料	無料
開催日数	106日
担当	勝山滋(当館学芸員)



長谷川さち《brush》
撮影/柳場大

内容

平塚市美術館のテーマホールを用いた「ロビー展」は、2006年12月にはじまり、今回で11回目となります。外光の降り注ぐ高さ11メートルの空間を舞台に、冬季実質100日以上のお会期となる観覧無料の展示となります。今年度は、彫刻家、長谷川さち(1982~)の石彫作品を取り上げます。

長谷川さちは1982年兵庫県生まれ。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科をへて同大学院美術専攻彫刻コースを修了。2005年以降東京近辺での個展、グループ展を中心に発表しています。

日本古来から人々が見てきたであろう景色や営み、自然現象、畏怖の対象に想いを馳せ、その不可視な世界の存在を何千年と存在しつづける石を通して現代に出現させようとする作品は、陽光の降り注ぐテーマホールの大空間に共鳴し、古代遺跡の直線的な配置性(レイライン)という意味合いを超えた複雑なニュアンスを帯びて、われわれに謎めいた問いかけを投げかけます。

ロビー展最年少、また全国の美術館で初の本格的な個展となる気鋭の作家による石彫の世界をご堪能ください。

関連事業

作家によるギャラリートーク

講師：長谷川さち(彫刻家)

日時：12月16日(土) 15:00~15:40、12月23日(土) 15:30~16:10、3月18日(日) 14:00~14:40

場所：テーマホール 申込不要

ゲスト：富井大裕(美術家)(12月23日)、江尻潔(足利市立美術館学芸員)(3月18日)

司会：土方明司(当館館長代理)、勝山滋(当館学芸員)

参加者数：計38人(18人、20人)

ワークショップ「触れながら形をつくること - 滑石を彫る - 」

講師：長谷川さち(彫刻家)

日時：12月16日(土)、12月23日(土) 各回10:00~14:30 (2回連続講座)

場所：アトリエB

参加者数：14人

(8) 特集展 所蔵作品による“なんだろう”展 + 新収蔵品展

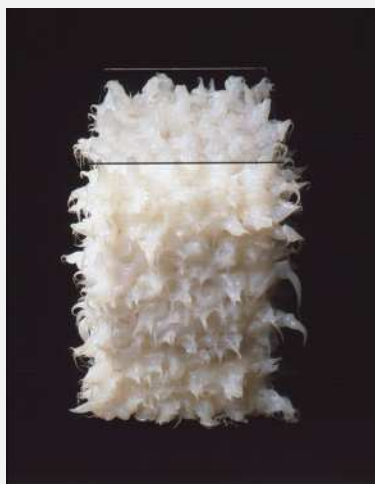
種 別	特集展
会 期	12月9日(土)～2018年2月25日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 1月8日(月・祝)(翌火曜日休館)及び2月12日(月・振休)は開館 年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	64日
観覧者数	4,645人
担 当	勝山滋(当館学芸員)、家田奈穂(当館学芸員)



郭徳俊《フォードと郭(B)》1974年 当館蔵



パウル・ヴンダーリッヒ《髑髏の靴》1976年 当館寄託



湯原和夫《作品 No.2-05》2003年 当館蔵



福田美蘭《見返り美人 鏡面群像図》2016年 当館蔵

内容

展覧会前半の“なんだろう”展は、これまでの所蔵品展とすこし様子がちがいます。ふだん作品に付されている作家名や題名、それに解説文もありません。なんだろう展は、いったいなにが描かれているんだらうと思いをめぐらす来館者が主役です。本展では、幻想的であったり、思わせぶりであったり、楽しくなったり、不思議な気持ちになるような所蔵作品を厳選して29点を展示します。あなたなら作品にどんな題名をつけますでしょうか。また「みんなでひとつこと」「みんなのQ&A」コーナーなど、ふるってコメントして“なんだろう”と考えてみてください。

なお同時開催として、昨年度に寄贈、寄託を受けた新収蔵作品36点を展示します。新たに所蔵作品の仲間入りをした多彩な作品をご堪能ください。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：1月13日(土)、2月10日(土) 各回 14:00～15:00

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計22人(12人、10人)

親子鑑賞サポートタイム

親子で作品を鑑賞する際のポイントについてレクチャーを受け、実際に展示室で展覧会を鑑賞します。

日時：2月7日(水) 10:00～11:00

対象：未就学児とその保護者 申込不要、保護者は要観覧券

参加者数：41人

教育普及

(1) 平成 29 年度実施プログラム

29 プログラムを実施 参加人数：1,511 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加人数
1	体験アートセラピー 親子でパステルアート 笑顔のカードを作ろう	福山恵美子(アートセラ ピスト)	4月22日(土)	200円	親子(小・中学生)	10組 19人
2	遊んでのびのび赤ちゃ んアート 春 (連続講座)	富田めぐみ	4月27日(木)、 5月11日(木)、 6月8日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月の未 就園児)	25組 51人
3	バックヤードツアー ~美術館の地震対策を 考える~	当館学芸員	5月20日(土)	なし	一般	15人
4	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いて みよう 一般の部	滝波重人(東海大学教 授)、河野孝博(東海大 学教授)、吉村維元(東 海大学教授)、仙谷朋子 (東海大学芸術学科の先 生)	6月4日(日)	500円	18歳~一般	15人
5	型ガラスでオブジェを 作ろう!!(連続講座)	大谷佳子(ガラス作家)	6月10日(土)、 6月24日(土)	2,000円	中学生~一般	10人
6	おうちの窓を天の川に しよう!星とカササギ の七夕モビール作り (連続講座)	依田梓(美術作家)	7月2日(日)	600円	親子(小・中学生)	8組 18人
7	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子(アートセラ ピスト)	7月8日(土)	200円	親子(小・中学生)	9組 18人
8	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏 (連続講座)	富田めぐみ	7月13日(木)、 8月3日(木)、 9月7日(木)	500円	親子(1歳~2 歳3ヶ月の未 就園児)	24組 52人
9	展覧会関連事業 光のりんごに想いを込 めよう	当館学芸員	7月22日(土) ~8月6日(日)	なし	0歳~一般	420人
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士 6名	7月29日(土)	なし	親子(0歳~6 歳の未就園児)	43組 99人
11	展覧会関連事業 絵本作家・松田奈那子 さんといっしょにちょ うちよを描こう!	松田奈那子(画家・絵本 作家)	8月4日(金)	500円	3歳~小学生	12人
12	中高生ボランティアと 工作をしよう! 缶バッジ・プラバン作 りワークショップ	中学生高校生ボランテ ィア 29名	8月11日(金) ~13日(日)	50円	3歳~一般	328人
13	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士 7名	8月19日(土)	なし	親子(0歳~6 歳の未就園児)	49組 133人
14	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ	8月30日(水)	なし	親子(0歳~2 歳)	9組 21人
15	体験アートセラピー 「自分だけのオリジナル グッズをつくる う!」	福山恵美子(アートセラ ピスト)	10月7日(土)	100円	中学生~一般	4人
16	東海大学協働事業 東海大学のお兄さん・ お姉さんと一緒に工作 をしよう! ~絵画から外の世界に 飛び出そう!~	東海大学インターン生 3名	10月8日(日)	150円	親子(小学生)	9組 20人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加人数
17	元気にのびのびキッズアート(連続講座)	富田めぐみ	10月12日(木)、 11月16日(木)、 12月7日(木)	500円	親子(2歳6ヶ月~4歳の未就園児)	25組 58人
18	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 中学・高校生の部	吉村維元(東海大学教授)、 仙谷朋子(東海大学芸術学科の先生)	10月15日(日)	なし	中学・高校生	3人
19	展覧会関連事業 おやこで“日本画”たいけん!	濱田樹里(日本画家)	10月29日(日)	2,000円	親子(小・中学生)	7組 16人
20	銅版画講座 メゾチントでカードをつくる	城戸宏(版画工房主宰)	12月3日(日)	2,100円	中学生~一般	13人
21	展覧会関連事業 触れながら形をつくること 滑石を彫る(連続講座)	長谷川さち(彫刻家)	12月16日(土)、 23日(土)	1,500円	中学生~一般	14人
22	キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ	12月21日(木)	なし	親子(3歳~小学生)	8組 22人
23	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬(連続講座)	富田めぐみ	1月11日(木)、 2月8日(木)、 3月8日(木)	500円	親子(1歳~2歳3ヶ月の未就園児)	25組 50人
24	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	1月20日(土)	なし	小・中学生	13人
25	版画講座 多色刷りに挑戦!(連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	1月21日(日)、 28日(日)	1,500円	中学生~一般	12人
26	陶芸講座(連続講座)	尾形隆昭(陶芸家)	2月4日(日)、 18日(日)、25日(日)	1,000円	中学生~一般	18人
27	見て、触って、親子で お互いを描き合おう!	水野暁(画家)	2月10日(土)	500円	親子(小・中学生)	8組 16人
28	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ	2月20日(火)	なし	親子(0歳~2歳)	11組 24人
29	動物を彫ろう!	三沢厚彦(彫刻家)	3月3日(土)	1,000円	15歳~一般	17人

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事

(2) スクールプログラム

51 プログラムを実施 参加人数：1,511人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加人数
1	秦野市立本町中学校 特別支援級	当館嘱託員	4月28日(金)	なし	本町中学校特別支援級の生徒と引率教員	39人
2	真鶴町立真鶴中学校美術部	当館学芸員	4月29日(土)	なし	真鶴中学校美術部の生徒と引率教員	12人
3	先生のための美術鑑賞広場 ~リアル(写真)のゆくえ~	当館嘱託員	5月7日(日)	なし	小・中・高・特別支援学校の教員	9人
4	平塚市立旭陵中学校	当館学芸員	5月11日(木)	なし	旭陵中学校特別支援級の生徒と引率教員	13人
5	神奈川県立藤沢清流高校	当館学芸員	5月12日(金)	なし	藤沢清流高校の生徒と引率教員	8人
6	平塚市立江陽中学校	当館嘱託員	5月17日(水)	なし	江陽中学校1年の生徒と引率教員	36人
7	平塚市立江陽中学校	当館嘱託員	5月19日(金)	なし	江陽中学校1年の生徒と引率教員	37人
8	平塚市立江陽中学校	当館嘱託員	5月23日(火)	なし	江陽中学校1年の生徒と引率教員	36人
9	保育園鑑賞ツアー (大神保育園)	富田めぐみ	5月30日(火)	なし	大神保育園年長組の園児と引率保育士	21人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加人数
10	平塚市立江陽中学校	当館嘱託員	5月31日(水)	なし	江陽中学校1年の生徒と引率教員	36人
11	平塚市立江陽中学校	当館嘱託員	6月1日(木)	なし	江陽中学校1年の生徒と引率教員	36人
12	平塚市立江陽中学校	当館嘱託員	6月2日(金)	なし	江陽中学校1年の生徒と引率教員	35人
13	平塚市立中原中学校	当館嘱託員	6月6日(火)	なし	中原中学校特別支援級の生徒と引率教員	14人
14	箱根町立湯本、箱根の森、仙石原小学校	当館嘱託員	6月9日(金)	なし	湯本、箱根の森、仙石原小学校5年の児童と引率教員	34人
15	平塚市立横内中学校	当館嘱託員	6月10日(土)	なし	横内中学校美術部の生徒と引率教員	9人
16	茅ヶ崎市立浜須賀小学校	当館学芸員	7月6日(木)	なし	浜須賀小学校5年の児童と引率教員	74人
17	厚木市立相川小学校	当館学芸員	7月11日(火)	なし	相川小学校5年の児童と引率教員	31人
18	茅ヶ崎市立浜須賀小学校	当館学芸員	7月12日(水)	なし	浜須賀小学校5年の児童と引率教員	77人
19	神奈川県立平塚養護学校	当館学芸員、嘱託員	7月13日(木)	なし	平塚養護学校の生徒と引率教員	49人
20	神奈川県立湘南養護学校	当館学芸員	7月14日(金)	なし	湘南養護学校の生徒と引率教員	35人
21	藤沢市小学校教育研究所 図工部会研修	当館嘱託員	7月21日(金)	なし	藤沢市小学校教育研究会 図工部会の教員	68人
22	神奈川県立平塚ろう学校	当館嘱託員	7月26日(水)	なし	平塚ろう学校の生徒と引率教員	8人
23	小田原市立千代中学校	当館学芸員	7月28日(金)	なし	千代中学校美術部の生徒と引率教員	18人
24	茅ヶ崎市立梅田中学校	当館学芸員	7月30日(日)	なし	梅田中学校美術部の生徒と引率教員	9人
25	茅ヶ崎市立鶴嶺中学校	当館学芸員	8月1日(火)	なし	鶴嶺中学校美術部の生徒と引率教員	32人
26	先生のための美術鑑賞広場 ～プラティスラヴァ世界絵本 原画展～	当館嘱託員	8月2日(水)	なし	小・中・高・特別支援学校の教員	13人
27	厚木市立藤塚中学校	当館学芸員	8月3日(木)	なし	藤塚中学校美術部の生徒と引率教員	16人
28	平塚市小学校教育研究会	当館嘱託員	8月3日(木)	なし	平塚市小学校の教員	34人
29	採用5年、10年経験者研修の受け入れ	当館嘱託員	8月4日(金) ～13日(日)	なし	小・中・高・特別支援学校の教員	8人
30	中高生ボランティアと一緒に 工作をしよう! 缶バッジ・プラバン作りワーク ショップ・プレ	当館嘱託員	8月9日(水)	なし	ボランティア参加希望者	29人
31	大磯町立国府中学校	当館学芸員	8月11日(金)	なし	国府中学校美術文芸部の生徒と引率教員	18人
32	先生向け体験ワークショップ マーブリング講座	正能均(マーブリングアート協会)	8月16日(水)	1,700円	小・中・高・特別支援学校の教員	14人
33	寒川町立寒川中学校	当館学芸員	8月18日(金)	なし	寒川中学校美術部の生徒と引率教員	9人
34	小田原市小学校教育研究会	当館嘱託員	8月23日(水)	なし	小田原市小学校の教員	41人
35	平塚市立浜岳中学校	当館学芸員	8月25日(金)	なし	浜岳中学校美術部の生徒と引率教員	11人
36	平塚市立城島小学校	当館嘱託員	9月27日(水)	なし	城島小学校5年の児童と引率教員	40人
37	保育園鑑賞ツアー (吉沢保育園)	富田めぐみ	10月3日(火)	なし	吉沢保育園年長組の園児と引率保育士	17人
38	保育園鑑賞ツアー (しらすぎ保育園)	富田めぐみ	10月5日(水)	なし	しらすぎ保育園年長組の園児と引率保育士	20人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加人数
39	保育園鑑賞ツアー (神田保育園)	富田めぐみ	10月11日(水)	なし	神田保育園年長組の園児 と引率保育士	27人
40	保育園鑑賞ツアー (若草保育園)	富田めぐみ	10月31日(火)	なし	吉沢保育園年長組の園児 と引率保育士	27人
41	保育園鑑賞ツアー (南原保育園)	富田めぐみ	11月7日(火)	なし	南原保育園年長組の園児 と引率保育士	20人
42	保育園鑑賞ツアー (花水台保育園)	富田めぐみ	11月10日(金)	なし	花水台保育園年長組の 園児と引率保育士	23人
43	神奈川県立えびな支援学校	当館学芸員	11月21日(火)	なし	えびな支援学校の生徒と 引率教員	22人
44	大和市立下福田小学校	当館学芸員	12月12日(火)	なし	下福田小学校4年の児童 と引率教員、大和市美術 鑑賞ボランティア	101人
45	神奈川県立藤沢清流高校	当館学芸員	12月15日(金)	なし	藤沢清流高校の生徒と 引率教員	6人
46	平塚市立浜岳中学校	当館学芸員	1月8日(月)	なし	浜岳中学校美術部の生徒 と引率教員	5人
47	神奈川県立藤沢清流高校	当館学芸員	1月19日(金)	なし	藤沢清流高校の生徒と 引率教員	5人
48	大和市立上和田小学校	当館学芸員	2月2日(金)	なし	上和田小学校3年の児童 と引率教員、大和市美術 鑑賞ボランティア	65人
49	保育園鑑賞ツアー (夕陽ヶ丘保育園)	富田めぐみ	2月6日(火)	なし	夕陽ヶ丘保育園年長組の 園児と引率保育士	23人
50	横浜市立緑園東小学校	当館嘱託員、 ひらびあーつ ま~れ	2月6日(火)	なし	緑園東小学校5年の児童 と引率教員	79人
51	横浜市立深谷小学校	当館学芸員	2月21日(水)	なし	横浜市深谷小学校5年の 児童と引率教員	62人

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事

(3) 対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

市内小学校で実施する「対話による美術鑑賞」事業の為、ボランティア育成のための研修を実施しました。28講座実施 参加人数：265人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	研修名	講師	実施日	参加人数
1	実践研修 12回目(2期)	三ツ木紀英(ARDA)	4月6日(木)	12人
2	実践研修 13回目(2期)	当館嘱託員	4月20日(木)	12人
3	実践研修 14回目(2期)	三ツ木紀英(ARDA)	5月18日(木)	20人
4	実践研修 15回目(2期)	当館嘱託員	5月25日(木)	11人
5	鑑賞&トーク体験会	当館嘱託員、 ひらびあーつま~れ 8名	5月27日(土)	5人
6	実践研修 16回目(2期)	三ツ木紀英(ARDA)	6月1日(木)	12人
7	鑑賞&トーク体験会	当館嘱託員、 ひらびあーつま~れ 8名	6月6日(火)	12人
8	実践研修 17回目(2期)	当館嘱託員	6月22日(木)	10人
9	実践研修 18回目(2期)	三ツ木紀英(ARDA)	7月6日(木)	15人
10	説明会兼面談会(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	7月15日(土)	6人
11	説明会兼面談会(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	7月16日(日)	6人
12	実践研修 19回目(2期)	当館嘱託員	7月20日(木)	10人
13	基礎研修 1回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月2日(土)	11人
14	基礎研修 2回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月9日(土)	10人
15	アートカード研修 1回目(1期2期)	桑原和美(ARDA)	9月14日(木)	20人
16	アートカード研修 2回目(1期2期)	桑原和美(ARDA)	9月28日(木)	18人
17	実践研修 1回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	10月11日(水)	7人

NO	研修名	講師	実施日	参加人数
18	実践研修 2回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	10月25日(水)	10人
19	実践研修 3回目(3期)	当館嘱託員	11月1日(水)	8人
20	実践研修 4回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	11月15日(水)	10人
21	アートカード研修 1回目(3期)	桑原和美(ARDA)	12月6日(水)	7人
22	アートカード研修 2回目(3期)	桑原和美(ARDA)	12月20日(水)	6人
23	実践研修 5回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	1月24日(水)	6人
24	実践研修 6回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	2月14日(水)	11人
25	実践研修 7回目(3期)	当館嘱託員	2月28日(水)	10人
26	実践研修 8回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月14日(水)	
27	合同研修(1期2期3期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月22日(木)	
28	実践研修 9回目(3期)	当館嘱託員	3月28日(水)	

対話による美術鑑賞講座 8校20クラス実施 参加人数：600人

NO	学校名	講師	事前授業日	実施日	学年	クラス数	参加人数
1	土屋小学校	ひらびあーつま〜れ	9月4日(月)	9月6日(水)	4年	1クラス	19人
2	大野小学校	ひらびあーつま〜れ	10月17日(火)、 20日(金)	10月24日(火)、 27日(金)	3年	3クラス	91人
3	中原小学校	ひらびあーつま〜れ	10月26日(木)	11月2日(木)	6年	2クラス	55人
4	松原小学校	ひらびあーつま〜れ	11月16日(木)、 17日(金)	11月21日(火)	5年	3クラス	92人
5	山下小学校	ひらびあーつま〜れ	11月22日(水)、 24日(金)	12月14日(木)	4年	3クラス	79人
6	城島小学校	ひらびあーつま〜れ	12月13日(水)	12月19日(火)	6年	1クラス	32人
7	なでしこ小学校	ひらびあーつま〜れ	1月11日(木)	1月18日(木)	4年	2クラス	75人
8	花水小学校	ひらびあーつま〜れ	1月17日(水)、 19日(金)、23日(火)	1月25日(木)、 26日(金)	6年	5クラス	157人

中学生を対象に対話による美術鑑賞(事前授業のみ)を実施しました。

2校5クラス実施 参加人数：173人

NO	学校名	講師	実施日	学年	クラス数	参加人数
1	平塚市立太洋中学校	ひらびあーつま〜れ 15名	6月14日(水)、 15日(木)	1年	3クラス	113人
2	平塚市立横内中学校	ひらびあーつま〜れ 11名	10月4日(水)	1年	2クラス	60人

夏休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

5講座実施 参加人数：121人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加人数
1	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 1回目	ひらびあーつま〜れ 14名	7月25日(火)	27人
2	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 2回目	ひらびあーつま〜れ 20名	8月1日(火)	22人
3	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 3回目	ひらびあーつま〜れ 16名	8月8日(火)	15人
4	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 4回目	ひらびあーつま〜れ 9名	8月15日(火)	29人
5	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 5回目	ひらびあーつま〜れ 11名	8月22日(火)	28人

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。

その他の事業

(1) 事業

七夕飾り

会期：7月2日(日)～7月17日(月・祝)

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビールづくり」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒に飾りつけ、来館者の目を楽しませました。

展示指導：依田梓（ワークショップ講師、美術家）

場所：テーマホール 自由観覧



こども年賀状とおとな絵手紙展

会期：1月5日(金)～1月8日(月・祝)

主催：平塚市美術館

内容：美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度の開催から数えて、今回で9回目となりました。

会場：市民アートギャラリーB室

作品数：117点

入場者数：210人



ミュージアムコンサート

開催日時：2月17日(土) 14:00～15:00

主催：平塚市美術館

内容：冬季オリンピック開催にちなんで、フィギアスケートに使用される曲目を中心に演奏されるピアノソロコンサートを開催しました。

参加者数：184人



第40回 平塚市展

会期：3月11日(日)～3月25日(日)

主催：平塚市展委員会

内容：地域の芸術文化の高揚と推進を図ることを目的として、昭和53年から開催されている公募展。

場所：展示室、市民アートギャラリー

(2) 団体向け研修・体験プログラム

19プログラムを実施 参加人数：432人

NO	種別	実施日	団体名	内容	人数
1	学習	5月12日(金)	平塚市南ブロック公民館	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」観覧とレクチャー	34人
2	学習	5月17日(水)	おもしろ美博館めぐり	「リアルゆくえ」観覧とレクチャー	20人
3	学習	5月26日(金)	平塚市大神公民館	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」観覧とレクチャー	12人
4	学習	5月27日(土)	岡上文学の会	「リアルゆくえ」観覧とレクチャー	10人
5	学習	6月6日(火)	平塚理容組合 女性部	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」観覧とレクチャー	21人
6	学習	6月8日(木)	平塚市八幡公民館	「リアルゆくえ」「浮世絵・神奈川名所めぐり」観覧とレクチャー	36人
7	学習	7月9日(日)	平塚市オリンピック・パラリンピック推進課	「浮世絵・神奈川名所めぐり」観覧とレクチャー	21人
8	学習	7月27日(木)	平塚市西ブロック公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」観覧とレクチャー	40人
9	学習	7月28日(金)	平塚市北ブロック公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」観覧とレクチャー	35人
10	学習	8月3日(木)	東海大学	「夏の所蔵品展 山の絵」観覧及びレクチャー	6人
11	学習	8月8日(火)	学童保育ありんこクラブ	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」観覧とレクチャー	15人
12	学習	8月9日(水)	平塚市東ブロック公民館	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」観覧とレクチャー	42人
13	学習	8月23日(水)	世界の子どもの絵本を楽しむ会	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」観覧とレクチャー	9人
14	学習	8月25日(金)	よこすか文庫連絡会	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」観覧とレクチャー	10人
15	学習	9月8日(金)	日本漆工協会	「夏の所蔵品展 山の絵」観覧及びレクチャー	20人

NO	種別	実施日	団体名	内容	人数
16	学習	10月18日(水)	平塚 MAC	「片岡球子展」観覧及びレクチャー	20人
17	学習	10月24日(火)	平塚市産業振興課	「片岡球子展」・「神山明・濱田樹里展」 観覧及びレクチャー	26人
18	学習	11月7日(火)	座間市教育委員会	「片岡球子展」・「神山明・濱田樹里展」 観覧及びレクチャー	13人
19	学習	11月14日(火)	平塚市北ブロック公民館	「片岡球子展」観覧及びレクチャー	42人

(3) 博物館実習生及び職場体験

博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わり体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生8人(7大学)を受け入れ、6月から12月まで実習を実施しました。

職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することで、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択に繋がるよう、職場体験の受け入れを実施しました。

NO	実施日	学校	人数	内容
1	11月10日(金)	平塚中等教育学校	3人	館の概要講義及び施設見学
2	11月10日(金)	神明中学校	4人	館の概要講義及び施設見学
3	11月16日(木)	金目中学校	4人	館の概要講義及び業務体験
4	1月25日(木)	大住中学校	3人	館の概要講義及び業務体験
5	1月26日(金)	江陽中学校	3人	館の概要講義及び業務体験
			17人	

(4) 定例会議

美術館協議会

委員(敬称略) 8名

水沢勉(学識経験者)、吉村維元(学識経験者)、瀬高真一郎(学校教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、成重千恵子(学校教育関係者)、内田尚子(社会教育関係者)、岩崎由紀子(社会教育関係者)、青木智明(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成29年8月18日(金) 平成29年度事業報告及び事業予定について

第2回 平成30年3月23日(金) 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画(案)について

美術品選定評価委員会

委員(敬称略) 5名

猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)、原田光(学識経験者)

開催日：平成30年2月2日(金)開催

(5) その他

企画展「プラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の50年 これまでとこれから」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施しました。

開館延長時間中の観覧者数は617人、親子割引の利用者は3,302人でした。

施設利用者等の統計

平成 30 年 2 月末現在

(1) 展覧会

観覧者数

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	5,693人	-	5,693人
5月	26日	23,502人	-	23,502人
6月	26日	20,666人	-	20,666人
7月	26日	4,200人	3,848人	8,048人
8月	27日	9,538人	7,944人	17,482人
9月	26日	250人	704人	954人
10月	26日	6,710人	-	6,710人
11月	26日	8,953人	-	8,953人
12月	24日	-	2,355人	2,355人
1月	24日	-	3,544人	3,544人
2月	25日	-	3,437人	3,437人
3月				
計	282日	79,512人	21,832人	101,344人

学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	2校	164人	10人	3校	104人	15人
	市外	11校	498人	28人	5校	297人	18人
中学校	市内	20校	468人	54人	4校	32人	10人
	市外	14校	228人	49人	10校	187人	19人
高等学校		6校	95人	35人	7校	113人	37人
計		53校	1,453人	176人	29校	733人	99人

(2) 貸出施設

市民アートギャラリー

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	24日	4団体	2,995人
5月	30日	7団体	5,930人
6月	24日	7団体	5,311人
7月	20日	5団体	3,536人
8月	29日	7団体	4,860人
9月	23日	6団体	4,293人
10月	32日	6団体	4,589人
11月	24日	7団体	9,331人
12月	12日	3団体	2,568人
1月	27日	6団体	4,859人
2月	19日	6団体	3,219人
3月			
計	264日	64団体	51,491人

ミュージアムホール

月	利用日数	団体数	利用者数
4月	6日	6団体	477人
5月	-	-	-
6月	7日	7団体	518人
7月	1日	1団体	40人
8月	-	-	-
9月	6日	6団体	366人
10月	-	-	-
11月	2日	2団体	190人
12月	12日	12団体	1,000人
1月	5日	5団体	398人
2月	7日	7団体	539人
3月			
計	46日	46団体	3,528人

5、8、10月は展覧会関連映像上映のため貸出実績はありません。

アトリエ

月	利用日数	団体数	利用者数
4月	1日	1団体	5人
5月	3日	3団体	13人
6月	2日	2団体	32人
7月	1日	1団体	7人
8月	3日	3団体	60人
9月	1日	1団体	5人
10月	6日	6団体	227人
11月	2日	2団体	16人
12月	7日	7団体	225人
1月	10日	3団体	171人
2月	1日	1団体	5人
3月			
計	37日	30団体	766人

施設の管理

●防災訓練

実施日時：6月2日(金) 9:00～9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム(緊急地震速報)配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応(通報・初期消火・避難誘導)
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定：全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

平成 30 年度 上半期事業案

展覧会

- (1) 企画展 21世紀の美術 タグチ・アートコレクション展
- アンディ・ウォーホルから奈良美智まで

種 別	企画展
会 期	4月21日(土)～6月17日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	タグチ・アートコレクション
協 力	湘南造園(株)
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 4月30日(月)は開館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	51日
担 当	江口恒明(当館学芸員)



ジョナサン・モンク《アフター・スプラッシュ》2006年



マッシュー・バーニー《Ms.グッドヤヤー》1995年

内容

タグチ・アートコレクションは、実業家の田口弘氏が収集した国内有数の現代美術コレクションです。400点を超えるコレクションは、出身地もさまざま、グローバルに活躍する作家たちの作品からなり、いまの美術の動向を一望することができます。本展では、コレクションの中から、2000年代に制作された作品を中心に約70点を紹介します。

現代の美術の特徴のひとつに、作品の中に「美術とは何か」という自己言及性を抱えていることが挙げられます。広告やアニメーションのイメージを取り込んだり、過去の巨匠の作品を引用したりしながら、「私の考える美術」を提示しています。また、作家個人の民族やジェンダーを主題にした作品や、映像作品にみられる物語性を取り入れた作品は「私はなぜ私であるのか」を見る人に問いかけできます。どのような作品であれ、作家のアイデアは独創的で、ユーモアと機知に富んでいます。美術館で最新のアートを体験していただきます。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：5月12日(土)、6月3日(日) 各回14:00～14:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(2) 企画展 岡村桂三郎展 - 異境へ

種別	企画展
会期	4月21日(土)~6月24日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 4月30日(月)は開館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	57日
担当	土方明司(当館館長代理)、家田奈穂(当館学芸員)



岡村桂三郎《百眼の魚 18-1》2018年 作家蔵



岡村桂三郎《南冥の鳥 12-1》2012年 作家蔵

内容

このたび平塚市美術館では、「岡村桂三郎展」を開催いたします。

岡村(1958生)は、20代で山種美術館賞優秀賞を受賞するなど早くから頭角を現し、注目されてきました。その独特な造形は、バーナーで焦がした巨大な杉板に方解末を塗り重ね、木炭でモチーフの形をとり、その中をスクレーパーで削ってうろこ状の画肌を刻むという特異な手法により生み出されています。こうした造形行為によって、従来の日本画にはない物質感や重厚な存在感を獲得した岡村は、2004年芸術選奨文部科学大臣新人賞、2008年第4回東山魁夷記念日経日本画大賞、2012年第18回MOA岡田茂吉賞MOA美術館賞を受賞するなど、現代の美術界をけん引する気鋭の作家として活躍しています。

屏風状に連ねた巨大な杉板のパネルに描かれるのは、象や鳥、獅子や巨大な魚のほか、龍や迦楼羅などの想像上の生き物で、不思議なうごめきを感じさせるその形態は、圧倒的な生命感をもって観る者に迫ります。こうしたイメージを生み出す岡村は、人間の営みや風土に根差した体験、感覚を大切にすることで、自然と人間の接点に美術や宗教が存在するという考えに至り、自然界がもつ生命力や、その形態の豊かさに着想を得て、制作に注力しています。

本展は、2008年に神奈川県立近代美術館で開催された個展以来、県内では10年振りとなる大規模な個展で、充実した活動をみせる岡村桂三郎の、今回の個展のために制作された新作のほか、旧作・近作約30点を紹介します。自然と人間との交感を想起させる世界観をお楽しみください。

関連事業

アーティストトーク

日時：4月21日(土)、4月22日(日)、5月13日(日)、6月10日(日) 各回 14:00～15:00

場所：展示室 申込不要、要観覧券

アーティストトーク 美術館で洞くつ探検

真っ暗闇の展示室の中で懐中電灯の光だけを頼りに作品を鑑賞します。

日時：5月12日(土) 16:00～16:30

対象：小学生から一般(小学生は要保護者同伴) 要申込、大学生以上は要観覧券

定員：10組20人

持物：懐中電灯

作家によるワークショップ うちわに絵を描こう!!

日時：6月9日(土) 13:00～16:00

場所：アトリエB

対象：小学生から一般(小学3年生以下は要保護者同伴) 要申込

定員：20人

参加費：3,000円

(3) 企画展 金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋

種別	企画展
会期	7月7日(土)~9月2日(日)
主催	平塚市美術館
協賛	ターナー色彩(株)、神奈川中央交通(株)
制作協力	NHK プラネット中部
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで) 8月4日(土)~8月19日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
担当	土方明司(当館館長代理)、石丸郁乃(当館嘱託員)



深堀隆介《金魚酒 伽琳》 2016年



深堀隆介《須磨》 2016年

内容

金魚の持つ神秘性に魅了され、創作を続ける深堀隆介(1973年愛知県名古屋市生まれ、横浜市在住)。深堀は透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描くという独自の斬新な手法で注目を集める若手の現代美術家です。

1995年に愛知県立芸術大学を卒業した深堀は、名古屋のディスプレイ会社にデザイナーとして勤務するも1999年に退職、本格的に創作活動を開始し、絵画と立体を並行してさまざまな作品を制作します。しかし、次第に自分が何をすべきかを悩み、自信を失いかけていた頃、金魚を描ききっかけとなった転機が訪れます。それは7年間放置していた水槽で生き続ける金魚の存在に気づき、その美しさに衝動を覚えたこと。金魚に救われたというこの出来事を「金魚救い」と呼び、その後、金魚に自分を重ね、表現を追求してきました。

極めて独創的な深堀の技法は、器の中に樹脂を流し込み、その表面にアクリル絵具で金魚を少しずつ部分的に描いていき、さらにその上から樹脂を重ねます。その作業を繰り返すことにより、絵が重なり合い、まるで生きているかのような金魚が表現され、圧倒的な立体感をもって観るものに迫ります。その生き生きとしたリアリティは平面である絵画作品と立体作品の境界に揺さぶりをかける革命的絵画と言えるでしょう。こうした一連の金魚作品によって、国内はもとより今や世界的に高い評価を受けています。また、近年ではライブペインティングやインスタレーションにも力を入れ、ますます表現の幅を広げています。

本展では、初期の立体作品から初公開となる新作インスタレーション《平成しんちう屋》を含む代表作200余点により、深堀隆介の世界を紹介する本格的な個展となります。絵画でありながら立体的な躍動感あふれ、不思議な美しさを湛えた深堀金魚を存分に愛で、お楽しみください。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：未定(会期中2回を予定)

場所：展示室 申込不要、要観覧券

深堀隆介氏によるライブペインティング

日時：未定

展覧会関連ワークショップ

講師：深堀隆介(現代美術作家)

日時：未定

場所：アトリエ 要申込

(4) 特集展 夏の所蔵品展 - いきもの図鑑

種別	特集展
会期	7月7日(土)～9月2日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 8月4日(土)～8月19日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日、7月17日(火) 7月16日(月・祝)は開館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
担当	家田奈穂(当館学芸員)



工藤甲人《愉しき仲間(二)》1951年 当館蔵



岡本秋暉《月下双鹿図》当館寄託

内容

このたび、平塚市美術館では「夏の所蔵品展 - いきもの図鑑」を開催いたします。

わたしたちは、はるか昔からいきものと深くかかわりながら生活してきました。美術の歴史を振り返っても美術全集のいちばん初めにフランスのラスコー洞窟やスペインのアルタミラ洞窟の壁画が紹介されており、そこには、いきいきとした動物の姿が描き出されています。以降、洋の東西を問わず、いきものはインスピレーションの源であり続け、多くの造形表現がなされてきました。

この特集展では、幅広い世代に楽しんでいただく夏休み企画として、当館が所蔵する作品の中から、いきものを描いた絵画や彫刻作品を紹介します。19～20世紀の作家たちのいきものを見つめるまなざしの多様性や自然界と人とのさまざまなかかわりに思いをはせていただければ幸いです。

関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：未定(会期中2回を予定)

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(参考)30年度下半期開催予定展覧会

(5) 特集展 所蔵品展

会期：9月15日(土)～11月25日(日)

(6) 企画展 小倉遊亀展

会期：10月6日(土)～11月18日(日)

(7) 特集展 所蔵品展

会期：12月8日(土)～2019年2月24日(日)

(8) ロビー展 土田泰子の彫刻 導～Where's a will, there's a way

会期：12月8日(土)～2019年4月7日(日)

教育普及

平成 30 年度上半期 実施プログラム

14 プログラムを実施予定

担当:江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施予定日
1	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 春 (連続講座)	富田めぐみ	4月26日(木)、 5月10日(木)、 6月7日(木)
2	岡村桂三郎展関連 美術館で洞くつ探検	岡村桂三郎(多摩美術大学教授)	5月12日(土)
3	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	5月20日(日)
4	タグチ・アートコレクション展関連 ワークショップ	ミヤギフトシ(現代美術作家)、 LPACK(アーティストユニット)	未定
5	東海大学協働事業 彫刻デッサン教室	滝波重人(東海大学教授)、河野孝博(東海大学教授)	6月3日(日)
6	岡村桂三郎展関連 うちに絵を描こう!!	岡村桂三郎(多摩美術大学教授)	6月9日(土)
7	おうちの窓を天の川にしよう! 星とカササギの七夕モビールづくり	依田梓(美術作家)	7月1日(日)
8	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子(アートセラピスト)	7月7日(土)
9	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏 (連続講座)	富田めぐみ	7月5日(木)、 8月2日(木)、 9月6日(木)
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士	7月28日(土)
11	中学生・高校生ボランティアと 一緒にオリジナルグッズを作ろう!	中学生高校生ボランティア	8月3日(金) ~5日(日)
12	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士	8月18日(土)
13	深堀隆介展 関連ワークショップ	深堀隆介(現代美術作家)	未定
14	一般向け鑑賞ワークショップ	佐藤悠(アーティスト)	未定

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事

スクールプログラム

依頼があれば、随時実施します。

担当:江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施予定日
1	先生のための美術鑑賞広場 (タグチ・アートコレクション展)	当館学芸員、嘱託員	5月6日(日)
2	中高生ボランティアと一緒に オリジナルグッズを作ろう! ワークショップ・プレ	当館嘱託員	8月1日(水)
3	先生のための美術鑑賞広場 (深堀隆介展)	当館学芸員、嘱託員	8月8日(水)
4	先生向け体験ワークショップ	未定	未定

対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

市内小学校を対象とした対話による美術鑑賞事業を実施するため、対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあーつま~れ)1期生14名、2期生15名、3期生11名、及び新規に募集を行う4期生の育成を行います。

ボランティア育成の為に研修会 13プログラム実施予定

4期のメンバー確定後、9月以降順次実践研修のスケジュールを調整し実施します。

NO	研修名	講師	実施予定日
1	実践研修 1回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	未定
2	実践研修 2回目(3期)	当館嘱託員	4月25日(水)
3	実践研修 3回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	5月9日(水)
4	実践研修 4回目(3期)	当館嘱託員	5月23日(水)
5	実践研修 5回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	未定
6	実践研修 6回目(3期)	当館嘱託員	6月20日(水)
7	実践研修 7回目(3期)	三ツ木紀英(ARDA)	7月4日(水)
8	実践研修 8回目(3期)	当館嘱託員	7月25日(水)
9	1~4期 交流会	当館嘱託員	8月22日(水)
10	基礎研修 1回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月15日(土)
11	基礎研修 2回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月22日(土)
12	アートカード研修 1回目(1~3期)	桑原和美(ARDA)	未定
13	アートカード研修 2回目(1~3期)	桑原和美(ARDA)	未定

市内小学生を対象にした対話による美術鑑賞講座。

希望校を募り、9月以降に8校程度実施予定。

アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

奏プランの位置付け

平塚市教育委員会では、平成22年度からの10年間を見据えた「平塚市教育振興基本計画」通称 奏プランを策定しています。

奏プランは、「豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち」づくりを教育分野の基本目標に掲げる「平塚市総合計画」の方針「一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ」「生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ」を達成するため、平塚市教育委員会が取り組む教育振興基本計画と位置付けています。

奏プランの実施計画を構成する事業は、5年間を見据えつつ取り組みますが、毎年度実施する「教育委員会の点検・評価」の結果や社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しをしながら推進するもので、美術館では、5つの事業が奏プランに含まれています。

重点項目	重点項目 4 生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	4-1-11
事業名	アートギャラリー等施設利用促進事業		
事業概要	館を訪れる方の安全の確保と美術品の良好な保存のため、施設の補修や保守点検等適切な維持管理をします。		
主な行動目標	アートギャラリーやミュージアムホール等施設の利用促進をめざします。 目標値は、アートギャラリー等の利用者数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	目標値 66,000人	目標値 67,000人	目標値 68,000人
	実績値 64,212人	実績値 59,480人	実績値
1 平成29年度の実績(平成30年1月31日現在)		内は平成29年1月31日現在実績	
施設名	利用団体数	利用日数	入場者数
市民アートギャラリー	58団体 56	239日 239	47,406人 45,702
ミュージアムホール	39団体 39	39日 39	2,990人 2,791
アトリエ	29団体 10	36日 17	761人 488
合計	126団体 105	—	51,157人 48,981
特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴い、館を訪れる方の安全と施設の快適利用のために、専門業者による劣化診断調査を実施し、建物及び設備等の劣化状況を把握した。 ・アートギャラリー催し物予定を3ヶ月分から6ヶ月に変更し、ホームページや館内で周知に努めた。また、施設利用促進として広報等による利用案内PRに努めた。 ・市民アートギャラリーは、幼小図工作品展、平塚市保育園児絵画展、平塚市文化祭など幅広く利用され、多くの方が来場した。 ・駐車場有料化に伴い、利用者への周知に努めた。 ・2月17日に開催するミュージアムコンサートを広報やホームページ等で定員150人を募集し、定員を上回る多くの申込があった。 			
協議会委員の意見欄			
事業の感想やコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用周知をさらに勧めることが大切である。利用団体数や利用日数の状況は評価できる。 ・施設、設備等の安全面や充実面での維持管理は重要である。 ・美術と音楽は人の感性を磨き、本物に触れることは、次代を担う子供たちに必要である。 ・アートギャラリーは、空きがないほど利用され、企画展に来た方の観覧もあり、企画展との相乗効果がある。 ・公共施設が集客で苦戦を強いられている中で、美術館は健闘している。 			
今後に期待すること			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もアートギャラリーやミュージアムホールの利用促進に努めていただきたい。 ・ミュージアムコンサートを多く開催し、企画展等と関連するコンサートを期待します。 			
【美術館の取組み】			
<ul style="list-style-type: none"> ・市民アートギャラリー等の施設のPRと利用促進に努めます。ミュージアムコンサートの開催を継続します。また、館を訪れる方の安全の確保等適切な管理に努めます。 			

重点項目	重点項目4 生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	4-1-12
事業名	美術教育の普及・体験事業（ギャラリートークの実施）		
事業概要	担当学芸員が展覧会のポイントや作品の解説・質疑応答等を行いながら、展覧会全体を理解してもらうギャラリートークを行います。		
主な行動目標	美術に対する関心を高めてもらうため、参加者を増やします。 目標値は、展覧会でのギャラリートークへの参加者数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	目標値 600人	目標値 600人	目標値 620人
	実績値 674人	実績値 554人	実績値
1 平成29年度の実績（平成30年1月31日現在）			
	展覧会名	実施回数	参加者数
	「リアルゆくえ展」	3回	146人
	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」	2回	65人
	「片岡球子 面構展」	2回	85人
	「浮世絵展」	2回	80人
	「神山明・濱田樹里展」	2回	32人
	「夏の所蔵品展 山の絵」	2回	50人
	「なんだろ展 + 新収蔵品展」	1回	12人
	ロビー展 「長谷川さちの彫刻」	2回	38人
	合計	16回	508人
特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・「浮世絵展」では、斎藤文夫氏による講演会（150名参加）、「リアル展」では、足利市美術館と当館学芸員による対談（135名参加）を開催し、いずれも好評でした。 ・「神山明・濱田樹里展」やロビー展「長谷川さちの彫刻」では、作家本人によるアーティストトークを開催した。 			
協議会委員の意見欄			
事業の感想やコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリートークは、鑑賞するだけでなく、深く広く作品を知ることができ、さらに作品への感心や興味が高まる。 ・展覧会に関連したギャラリートークや講演会を開催することは、鑑賞を深める機会となる。 ・ギャラリートークは、地道な活動であるが、大切な活動である。 			
今後期待すること			
<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリートークをもっとアピールして、気軽に参加できることを市民に知ってもらいたい。 ・SNSなどを活用して、広報活動に注力していただきたい。 ・作品の解説や展覧会全体を理解していただくことは、参加した方だけでなく、観覧者全員に伝えたいことである。 			
【美術館の取組み】			
<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者が作品に対し理解を深め、より身近に感じていただけるよう、学芸員や作家本人によるギャラリートークや展覧会に関連した講演会の開催を継続します。 			

重点項目	重点項目 4 生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	4-1-13
事業名	美術教育の普及・体験事業（ワークショップの開催）		
事業概要	美術に親しむ人々の拡大と美術に関する学習活動や体験を目的に、子供・親子や成人を対象としたワークショップを行います。		
主な行動目標	美術体験に対する関心を高めてもらうため、参加者を増やします。 目標値は、ワークショップへの参加者数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	目標値 1,200人	目標値 1,200人	目標値 1,300人
	実績値 2,663人	実績値 2,068人	実績値
<p>1 平成29年度の実績（平成30年1月31日現在）</p> <p>美術への関心と親しむ人を増やす目的の体験型学習活動として、子供対象・親子対象・一般対象・スクールプログラムの56講座を実施し、2,464人の参加があった。</p> <p>中でも「赤ちゃんアート」は1歳から2歳3ヶ月までの子どもと保護者が絵の具、折り紙などでふれあい・コミュニケーションを体験する講座で、日常を忘れリラックスできる人気が高いワークショップで、子育て支援にもなっている。</p> <p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラティスラヴァ世界絵本原画展関連のワークショップ「光のりんごに想いをこめよう」には、連日多くの方に参加していただいた（合計420人）。また、作家本人による「いっしょにちょうちょを描こう」の参加者は、熱心に作品の制作にあたっていた。 ・教員や学校事務職員を対象とした研修会を7回実施し、187人参加があった。 ・市内保育園児を対象に園児鑑賞ツアーは、7園実施し、155人参加があった。（参考 昨年度は5園実施し、97人参加） ・市内小学生を対象とする「対話による美術鑑賞」は、今年度5校での実施予定だったが8校で実施し、600人の参加があった。児童からは、絵画から感じた感想等を活発に出し合っていた。（参考 昨年度は6校実施し、413人参加） <p>さらに市内中学校2校から「対話による美術鑑賞」の依頼があり、実施した。</p>			
協議会委員の意見欄			
<p>事業の感想やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年代を対象とした講座は、ふれあいやコミュニケーションを通して、美術への興味や関心を高める。 ・美術や音楽など芸術に触れることは、成育歴の中でとても大切なことである。 ・市内のみならず、市外教育関係者への研修会は、貴重なことであり、素晴らしい。 <p>今後期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会と関連したワークショップのより一層の活性化を期待します。 ・豊かな人間性を育む過程において、今後も赤ちゃんアートに期待します。 ・より多くの子供たちに本物に触れる機会を与えていただきたい。 			
<p>【美術館の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の赤ちゃんアートや小学生を対象とした対話による美術鑑賞など、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層を対象としたワークショップの充実と継続、PRを図っていきます。 			

重点項目	重点項目 4 生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	4-1-14
事業名	魅力ある美術展覧会事業		
事業概要	多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。		
主な行動目標	美術に対する関心を高めてもらうため、観覧者数を増やします。 目標値は、展覧会への観覧者数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	目標値 100,000人	目標値 100,000人	目標値 100,000人
	実績値 105,499人	実績値 104,512人	実績値
1 平成29年度の実績（平成30年1月31日現在）			
	展覧会名		観覧者数
	「リアルのゆくえ展」		25,318人
	「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」		13,738人
	「片岡球子 面構展」		8,113人
	「浮世絵展」		24,543人
	「神山明・濱田樹里展」		7,800人
	「夏の所蔵品展 山の絵」		12,496人
	「なんだろ展 + 新収蔵品展」		2,929人
	ロビー展 「長谷川さちの彫刻」		2,970人
	合 計		97,907人
特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・リアルのゆくえ展を「日曜美術館」や「美の巨人たち」で取り上げていただき、全国各地から大勢の方にご来館いただき、観覧券を求める列ができるほど盛況でした。 ・夏季の展覧会期間中は、親子割引（3,302人）、開館時間延長（617人）を実施した。 ・ブラティスラヴァ世界絵本原画展では、「みんなで選ぼうお気に入りの絵本原画」ひらつか子ども審査員賞（1,060人投票）を実施した。 ・夏休み期間に合わせ、美術館・博物館・図書館の3館でスタンプラリーを実施した。（3館合計で3,085人参加） 			
協議会委員の意見欄			
事業の感想やコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して、幅広い年齢層が楽しめる内容を工夫した企画展の開催はよい。 ・観覧意欲を高めるニーズに合った企画を提供されていることは、評価できる。 ・メディアに取り上げられることで、多くの方に関心を持たれる重要性を改めて感じた。 			
今後期待すること			
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な工夫を凝らした、魅力ある展覧会企画の取組みを期待します。 ・HPでの動画配信は、できれば展覧会毎に作成し、展覧会画面からアクセスできるとよい。 ・夏休み期間に合わせ、他の市立美術館とのコラボ企画。 			
【美術館の取組み】			
<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通じて、世代や内容などバランスのとれた展覧会の開催に努めます。 ・夏休み期間に合わせ、3館コラボ企画や親子割引等を引き続き考えていきます。 			

重点項目	重点項目4 生涯学習拠点を活用した地域社会の活性化	番号	4-3-9
事業名	美術品の調査・収集事業		
事業概要	美術品の収集活動・調査研究や保存活動等を行い、作品情報等をホームページや情報コーナーで公開します。		
主な行動目標	最新のデジタル画像を提供するため、更新を行います。 目標値は、最新デジタル画像公開件数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	目標値 44件	目標値 44件	目標値 46件
	実績値 35件	実績値 40件	実績値
<p>1 平成29年度実績（平成30年2月2日 美術品選定評価委員会開催）</p> <p>作品の購入 0点 0</p> <p>作品の寄贈 14点 33</p> <p>作品の寄託 8点 8</p> <p>内は、平成28年度実績</p> <p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度寄贈寄託を受けた作品は、今年度の新収蔵品展で展示し、ホームページで公開した。 ・開催した展覧会を契機に、作品の寄贈があった。 ・寄贈寄託作品は、水彩、油彩、ブロンズ等があり、来年度以降の所蔵品展で市民に公開予定。また、情報コーナーやホームページでも公開予定。 			
協議会委員の意見欄			
<p>事業の感想やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会を通じて作品の寄贈があったことはよかった。 ・寄贈に繋がる働きかけは必要である。 			
<p>今後に期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入予算の確保に努め、若手作家の作品を含め、作品の購入ができるとうよい。 ・湘南にゆかりのある作家や関連のある作品を中心に収集していただきたい。 ・HP等で所蔵品の公開を継続し、もっと作品の魅力を紹介していただきたい。 ・デジタル画像の活用をさらに進めていただきたい。 			
<p>【美術館の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会開催を通じて、作品の寄贈等となるように今後も努めます。 ・ホームページの充実と最新データの更新に努めます。 			